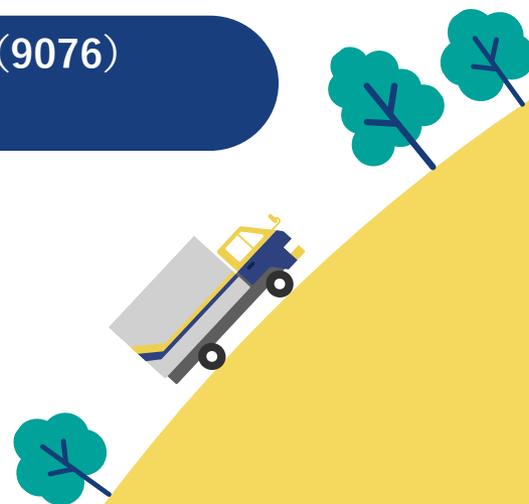
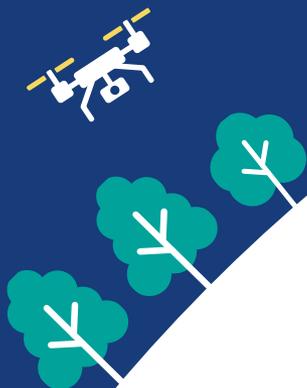




2024年3月期 第1四半期 決算説明会資料

セイノーホールディングス株式会社 (9076)
2023年8月10日



目次

01 24年3月期 第1四半期 決算概要

02 業績予想の下方修正について

03 ロードマップの進捗について

補足資料

参考資料

セイノーHDについて

本日お伝えしたいこと



- 第1四半期は、お客様（製造業・小売業）の値上げによる**消費者の購買減が想定以上に物量に影響し、減益**となったと分析しています。物量が減少する中で、**当社の強みである長距離・高重量の運賃の上昇は維持**できました。
- 物量は、第2四半期も低迷しており、**上期・通期の業績予想を下方修正**します。下期には、現在取り組んでいる各施策効果が出てくると予想していますが、**上期のマイナスは回復できないと判断**しました。5月の決算発表から短い時間での修正、お詫びします。**各施策を確実に実行するとともに、インテリジェンス機能強化で予想の精度を高めることに努めます。**
- 中期的には、**ロードマップの実現に向けて進んでいます。株主還元の方針に変更はありません。**自己株式消却、自己株式取得は着実に進めています。配当政策はDOE4.0%、95円前後の配当も変更しません。**中期的には、拠点の集約化による長距離・高重量領域での適正価格化、ロジスティクス事業・貸切事業の成長、Team Green Logisticsの施策も進めています。**先日発表したアドバイザリーボードも候補者との対話を進めています。
- 秋には、来期以降を見据えた「**物流の2024年問題について**」のIR Dayを開催します。皆さまとの対話を強化させてください。



01

24年3月期 第1四半期 決算概要



- 第1四半期の営業利益は15.2%減益となりました。主たる減益要因は、輸送事業、特に特積みにおける物量の減少▲5.2%です。
- お客様（製造業・小売業など）の値上げの動きが続き、最終消費者の購入量が減少したため、国内の輸送物量に影響したと考えます。
- 物量の減少局面では、価格競争に陥りがちですが、中小運送会社が短距離輸送にシフトしてきていることもあり、長距離・高重量輸送では、収受率の改善が進みました。
- 新規連結会社による増収効果もありましたが、投資ステージの会社もあり、利益には寄与しておりません。
- 戦略分野であるロジスティック事業は成長しましたが、先行投資負担で、利益面では費用増となりました。
- 自動車販売の回復があり、物販・不動産・その他事業も増益でした。

P / L : 増収・減益



輸送事業における物量の減少が営業利益を押し下げた

| 単位:百万円 | 22/6 | 23/6 | 前年同期比 | 上期進捗率 |
|----------------------|---------|---------|--------|-------|
| 売上高 | 152,529 | 159,242 | +4.4% | 48.8% |
| 売上総利益 | 18,156 | 17,999 | ▲0.9% | |
| (粗利益率) | 11.9% | 11.3% | ▲0.6pt | |
| 販売管理費 | 10,891 | 11,839 | +8.7% | |
| 営業利益 | 7,264 | 6,160 | ▲15.2% | 38.7% |
| (営業利益率) | 4.8% | 3.9% | ▲0.9Pt | |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 5,448 | 4,429 | ▲18.7% | 41.4% |

売上高

前年同期比 **+4.4%** 上期進捗率 **48.8%**

自動車販売事業での増収と、輸送事業でのロジスティクスの伸長や新規連結効果などもあり6,713百万円の増収

営業利益

前年同期比 **▲15.2%** 上期進捗率 **38.7%**

輸送事業の物量が大きく落ち込んだことによる減益を、自動車販売事業などでの増益で、一部カバーしたものの1,104百万円の減益

四半期純利益

前年同期比 **▲18.7%** 上期進捗率 **41.4%**

輸送事業での物量減による減益に加え、持分法投資利益の減少などもあり1,018百万円の減益

事業の概要：輸送事業以外は増益

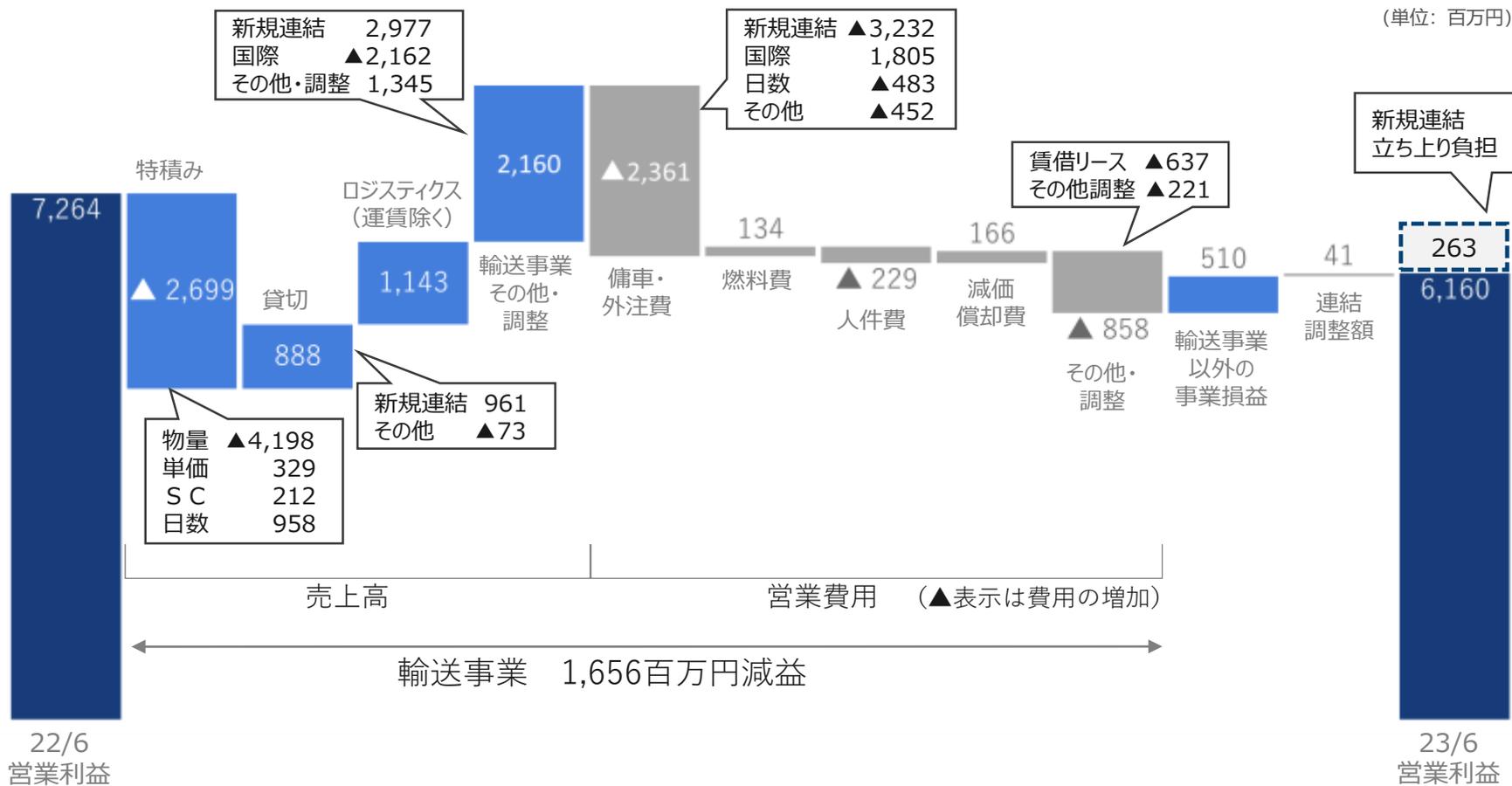


| 単位:百万円 | 売上高 (前年同期比) 【上期進捗率】 | 営業利益 (前年同期比) 【上期進捗率】 | 23/6 事業概況 | KPI |
|---------|-------------------------------|------------------------------|--|---|
| 輸送事業 | 117,864 (+1.3%) 【47.9%】 | 3,757 (▲30.6%) 【31.9%】 | <p>売上高 ロジスティクスの伸長に加え、新規連結の効果もあり増収</p> <p>営業利益 特積みの物量が5.2%減となり、売上が伸ばせなかったことや、ロジスティクスでの新設拠点の立ち上がり費用もあり減益</p> | <p>特積 前年同期比 物量 94.8% (日当り) kg単価 100.4% (一般+ミニ*)</p> <p>ロジスティクス 前年同期比 売上 113.1% (発送運賃除く)</p> <p>貸切 前年同期比 売上 107.7% (西濃運輸105.9%)</p> |
| 自動車販売事業 | 27,028 (24.2%) 【54.0%】 | 1,859 (+30.4%) 【62.0%】 | <p>売上高 メーカーの生産台数の回復により、完成車の納車が進んだことで増収</p> <p>営業利益 乗用車販売の売上増加に加え、トラック販売でのメンテナンス利益の増加により増益</p> | <p>新車販売台数 (前年比)</p> <p>乗用車 5,052台 (149.8%)</p> <p>トラック 744台 (88.2%)</p> |
| 物品販売事業 | 7,960 (+2.4%) 【48.4%】 | 176 (+9.9%) 【53.5%】 | 燃料価格の低下があったものの、家庭紙販売が好調であったこともあり、増収・増益 | |
| 不動産賃貸事業 | 552 (+2.3%) 【49.8%】 | 405 (+3.0%) 【50.6%】 | ボヌール芝浦・ボヌール大井などが寄与し、増収・増益 | |
| その他 | 5,837 (▲3.9%) 【45.1%】 | 312 (18.5%) 【38.7%】 | 情報サービス、人材派遣業などの伸長により、増収・増益 | |

連結営業利益の増減要因（前年同期比）



貸切・ロジスティクスの伸長や新規連結効果で増収、
物量の減少や注力事業が投資先行であることから、営業利益は減益



物量と単価の状況

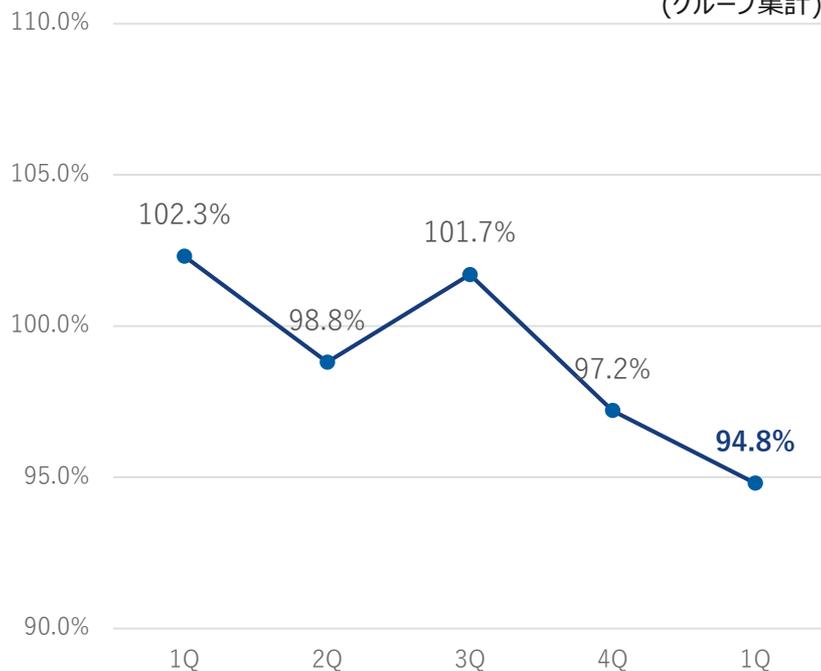
単価改善が進む一方、物量は大きく減少



お客様の値上げによる出荷量の減少の影響で物量は悪化

日当たり物量（前年同期比）

（グループ集計）



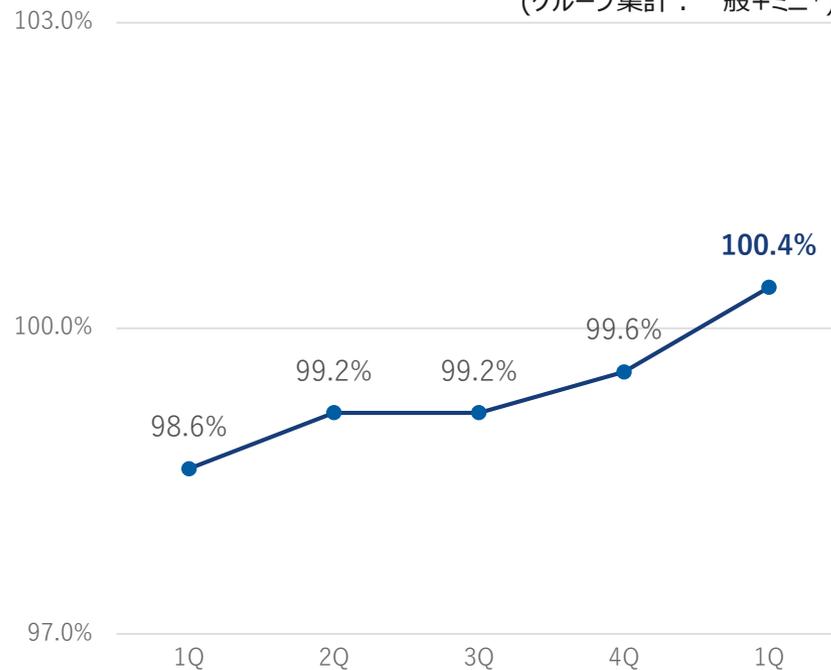
23年3月期

24年3月期

適正運賃収受が進展し、単価は改善

Kg単価（前年同期比）

（グループ集計：一般+ミニ*）



23年3月期

24年3月期

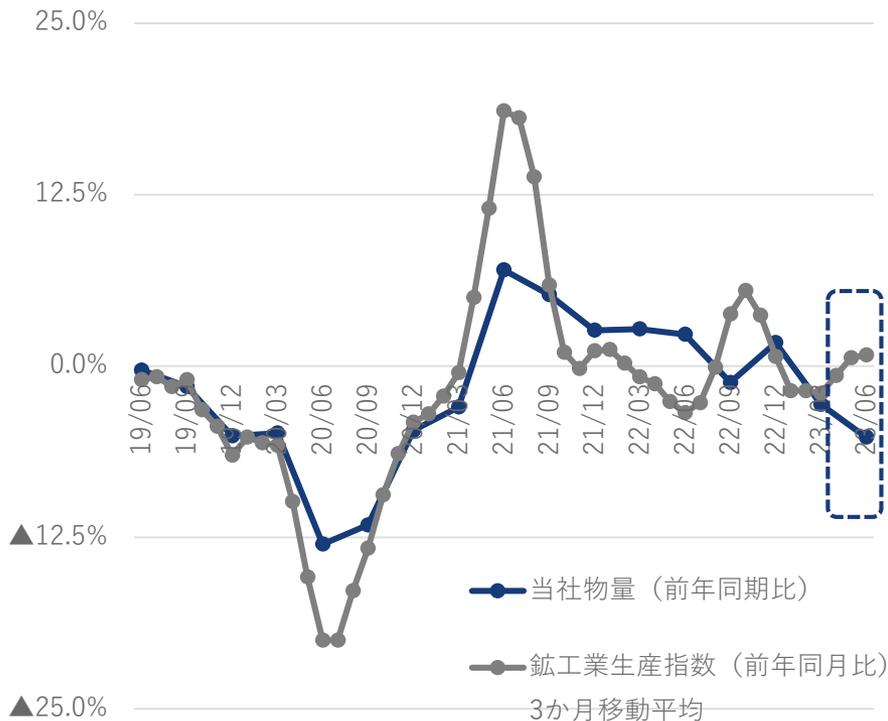
物量

個人消費の落ち込みが物量の減少に影響

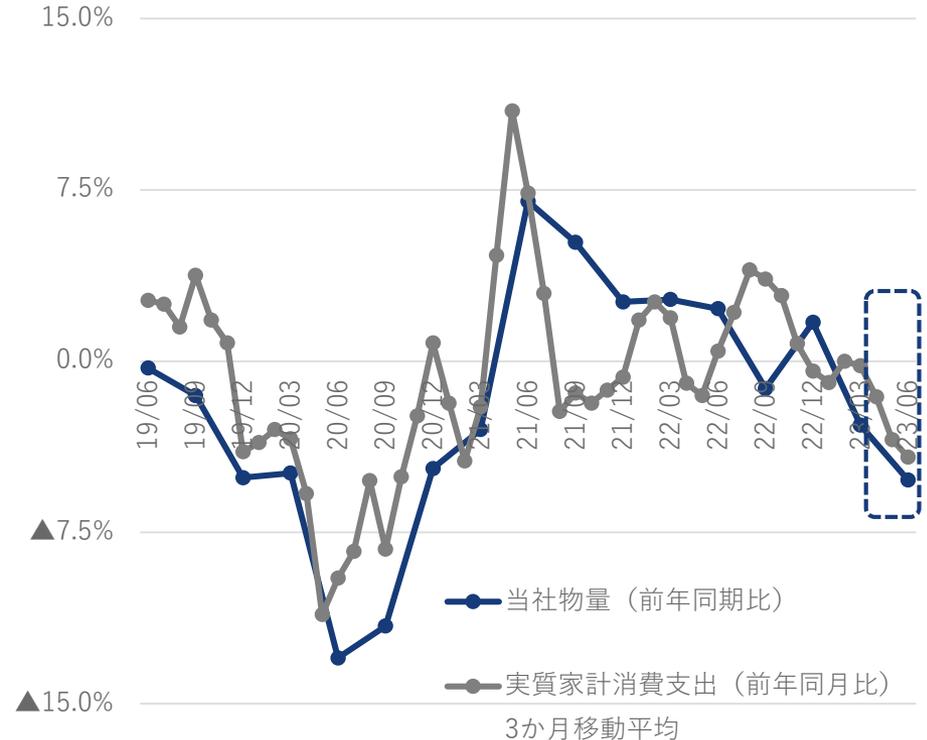


当社の輸送事業は企業間物流が中心で、鉱工業生産指数など企業景気を見ていたが、国内企業活動の源流である実質家計消費支出が物価高の影響で落ち込んだことに引っ張られた

当社物量と鉱工業生産指数の比較



当社物量と家計消費支出の比較



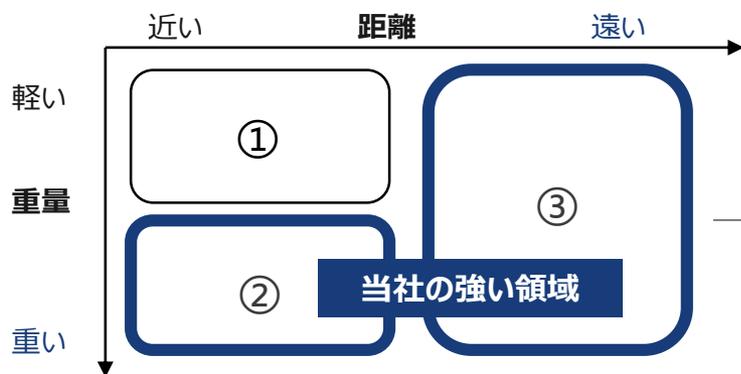
(出所) 総務省統計局 家計調査 (家計収支編)、厚生労働省 毎月勤労統計調査

単価 物量減ながら単価は改善



高重量・長距離帯を中心にKg単価は上昇

重量・距離帯別領域



(西濃運輸：一般)

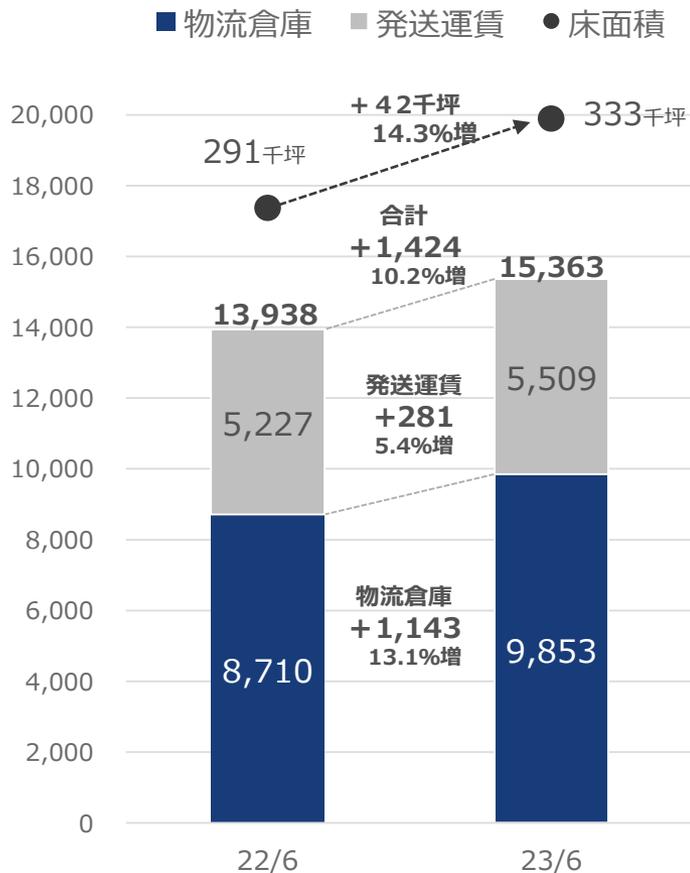
| 重量・距離帯別 前年同期比 | | | |
|------------------|-------|--------|--------|
| 重量帯／距離帯 | 日当り物量 | 運賃収受率 | Kg単価 |
| ①300kg以下／500km以下 | 94.4% | 99.6% | 100.6% |
| ②300kg超／500km以下 | 95.4% | 100.3% | 101.8% |
| ③500km超 | 94.5% | 100.7% | 101.2% |
| 全体 | 94.8% | 100.0% | 101.1% |

- 当社は、高重量帯・長距離帯で競争力が高い（左図②、③）
- 昨年11月より、①②③の領域毎に収受率を変えられるようにシステムを変更し、②③の領域の運賃収受率を上げることで、Kg単価の改善に取り組んでいる
- 運賃収受率は、②③の領域で上昇
- ②③の領域の収受率上昇が、全体のKg単価を押し上げた
- 効果の確認はできているので、スピードを加速させ、kg単価の更なる改善を図る



他社アセット（賃借）の活用を継続し、増床を推進

(単位：百万円)



- ロジスティクス売上 15,363百万円【管理会計ベース】(+1,424百万円)
- 23年3月期に立ち上げた新設6拠点の寄与に加え、第1四半期に新設した3物件が加わったことなどもあり、物流倉庫の売上は前年比13.1%増となった
- 2Qには、賃借による3拠点（9,056坪）の開設を予定している
- 新設店の先行投資は、早期稼働により回収を進める
- ロジスティクスは、人手不足に悩む企業からの需要も強いこと、輸送と直接繋げることで差別化できること、収益性が高いことから、引き続き注力する

| 新設拠点名 | 所在地 | 区分 | 坪数 | 開設月 |
|--------------------|----------|----|--------|--------|
| 高崎支店物流倉庫 (西濃運輸) | 群馬県 安中市 | 自社 | 1,400 | 2023/4 |
| 新木場倉庫 (西濃運輸) | 東京都 江東区 | 賃借 | 4,000 | 2023/5 |
| 厚木倉庫 (西濃運輸) | 神奈川県 愛甲郡 | 賃借 | 4,600 | 2023/6 |
| 計 | | | 10,000 | |

営業費用



燃料価格の低下や車両の償却費の減少があったものの、自動車販売事業での販売台数の増加や、新規連結の影響もあり、営業費用は増加

| 単位:百万円 | 22/6 | 23/6 | 前年同期比 | コメント |
|---------------|----------------|----------------|---------------------------|---|
| 人件費 | 54,302 | 54,475 | +173 (+0.3%) | 新規連結による影響額 649百万円 新規連結を除く影響額は、▲476百万円と業績に連動した |
| 燃料費 | 4,570 | 4,400 | ▲169 (▲3.7%) | 燃料単価が、前年同期に比べ低下したことで減少 |
| 減価償却費 | 5,260 | 5,103 | ▲156 (▲3.0%) | 昨年からのトラック出荷停止の影響で、車両の償却費が減少 車両・運搬具 ▲246百万円 建物・構築物 83百万円 |
| 備車料・取扱手数料・外注費 | 42,793 | 45,154 | +2,361 (5.5%) | 新規連結による影響額 3,232百万円 日数影響 (+0.8日) 483百万円 国際運送原価の減少 ▲1,805百万円 |
| その他 | 38,337 | 43,947 | +5,609 (+14.6%) | 自動車販売事業での、車両販売台数の増加に伴う仕入れ代金 4,499百万円の増加や、ロジスティクスなどでの賃借・リース料 637百万円の増加 |
| 営業費用合計 | 145,264 | 153,082 | +7,818 (+5.4%) | |



02

業績予想の下方修正について



- 7月も物量は低迷しており、8月も荷動きが弱いことから、第2四半期の見通しも厳しいと考えます。
- そのため、第2四半期・通期予想を下方修正しました。第2四半期累計では営業利益（昨年同期比）17.5%の減益、通期では営業利益（昨年同期比）4.1%の減益を想定しています。
- 好調業種（食品・機械など）を中心とした営業強化、O.P.P.推進の効果、10月の北大阪ハブ店の稼働などにより、物量の確保に取り組みます。物量（昨年同期比）は上期95.3%（▲5.2pt）、下期97.3%（▲3.2pt）、通期96.3%（▲4.2pt）を想定しています。
- 単価（一般）は計画どおりに進捗しており、通期予想を102%とし、引き続き適正運賃の収受に努めます。
- 自動車販売他の事業は堅調に推移すると考えます。

業績予想（第2四半期修正）

営業利益は約18%減益



| 単位:百万円 | 23/9 (修正後) | 23/9 (当初) | 増減額 | 増減率 | 22/9 (実績) | 増減額 (前年) | 増減率 (前年) | コメント (修正差分) |
|----------------------------|---------------|--------------|---------|--------|--------------|-------------|-------------|-----------------------|
| 売上高 | 316,160 | 326,540 | ▲10,380 | ▲3.2% | 306,366 | 9,793 | 3.2% | |
| 輸送事業 | 235,650 | 246,030 | ▲10,380 | ▲4.2% | 233,081 | 2,568 | 1.1% | 【輸送事業】 |
| 自動車販売事業 | 50,020 | 50,020 | 0 | - | 43,874 | 6,145 | 14.0% | <物量想定> |
| 物品販売事業 | 16,430 | 16,430 | 0 | - | 16,012 | 417 | 2.6% | 2Q 95.8% (▲4.7pt) |
| 不動産賃貸事業 | 1,110 | 1,110 | 0 | - | 1,090 | 19 | 1.8% | 上期 95.3% |
| その他 | 12,950 | 12,950 | 0 | - | 12,308 | 641 | 5.2% | (▲5.2pt) |
| 営業利益 | 11,950 | 15,900 | ▲3,950 | ▲24.8% | 14,483 | ▲2,533 | ▲17.5% | <単価想定> |
| 輸送事業 | 7,830 | 11,780 | ▲3,950 | ▲33.5% | 10,563 | ▲2,733 | ▲25.9% | 2Q 101.2% (▲0.4pt) |
| 自動車販売事業 | 3,000 | 3,000 | 0 | - | 2,836 | 163 | 5.8% | 上期 101.1% |
| 物品販売事業 | 330 | 330 | 0 | - | 374 | ▲44 | ▲11.9% | (▲0.1pt) |
| 不動産賃貸事業 | 800 | 800 | 0 | - | 796 | 3 | 0.4% | |
| その他 | 820 | 820 | 0 | - | 725 | 94 | 13.0% | |
| 調整額 | ▲830 | ▲830 | 0 | - | ▲813 | ▲16 | - | |
| 経常利益 | 13,500 | 17,800 | ▲4,300 | ▲24.2% | 16,751 | ▲3,251 | ▲19.4% | EPS 42.93円 |
| 親会社に帰属する 四半期純利益 | 7,800 | 10,700 | ▲2,900 | ▲27.1% | 9,915 | ▲2,115 | ▲21.3% | (▲16.00円) |

業績予想（通期修正） 営業利益は約4%減益



| 単位:百万円 | 24/3 (修正後) | 24/3 (当初) | 増減額 | 増減率 | 23/3 (実績) | 増減額 (前年) | 増減率 (前年) | コメント (修正差分) |
|---------------------------|---------------|--------------|---------|--------|--------------|-------------|-------------|--------------------------------|
| 売上高 | 641,440 | 663,920 | ▲22,480 | ▲3.4% | 631,507 | 9,932 | 1.6% | |
| 輸送事業 | 479,400 | 501,880 | ▲22,480 | ▲4.5% | 474,701 | 4,698 | 1.0% | 【輸送事業】 |
| 自動車販売事業 | 98,370 | 98,370 | 0 | - | 94,209 | 4,160 | 4.4% | <物量想定> 下期 97.3% (▲3.2pt) |
| 物品販売事業 | 34,330 | 34,330 | 0 | - | 33,517 | 812 | 2.4% | |
| 不動産賃貸事業 | 2,220 | 2,220 | 0 | - | 2,191 | 28 | 1.3% | 通期 96.3% (▲4.2pt) |
| その他 | 27,120 | 27,120 | 0 | - | 26,866 | 233 | 0.9% | |
| 営業利益 | 27,320 | 32,100 | ▲4,780 | ▲14.9% | 28,501 | ▲1,181 | ▲4.1% | <単価想定> |
| 輸送事業 | 20,280 | 25,060 | ▲4,780 | ▲19.0% | 21,869 | ▲1,589 | ▲7.3% | 下期 102.9% (+0.2pt) |
| 自動車販売事業 | 4,900 | 4,900 | 0 | - | 4,709 | 190 | 4.0% | |
| 物品販売事業 | 820 | 820 | 0 | - | 800 | 19 | 2.5% | 通期 102.0% (+0.1pt) |
| 不動産賃貸事業 | 1,630 | 1,630 | 0 | - | 1,614 | 15 | 0.9% | |
| その他 | 1,320 | 1,320 | 0 | - | 1,174 | 145 | 12.4% | |
| 調整額 | ▲1,630 | ▲1,630 | 0 | - | ▲1,666 | 36 | - | |
| 経常利益 | 31,000 | 35,500 | ▲4,500 | ▲12.7% | 32,688 | ▲1,688 | ▲5.2% | EPS 102.29円 (▲15.57円) |
| 親会社に帰属する 当期純利益 | 17,800 | 21,400 | ▲3,600 | ▲16.8% | 19,013 | ▲1,213 | ▲6.4% | ROE 4.1% (▲0.6pt) |

物量確保の取り組み 回復に向けた3つの施策



マクロ環境の好転に頼らず、物量確保のため3つの施策を実行

- 新規荷主の開発
 - ・ コロナ前の2018年より増収（増益）出来ているエリアの営業手法の全国展開
- 既存荷主の粘着力アップ
 - ・ 当社のシェア率の低いお客様へのアプローチ
 - ・ ロジ、国際、貸切などの複数サービス利用の案内による粘着力の強化
- O.P.P.(オープン・パブリック・プラットフォーム) の拡大
 - ・ 北大阪トラックターミナルをはじめとした、当社のターミナルやビジネスセンター（BC）などを利用した輸送ネットワーク連携
 - ・ 同業他社が苦手とする大きさや異形物、出荷方面や地域などへの輸送の受託



03

ロードマップの進捗について

(再掲) ロードマップ2028 成長と資本効率改善を両立

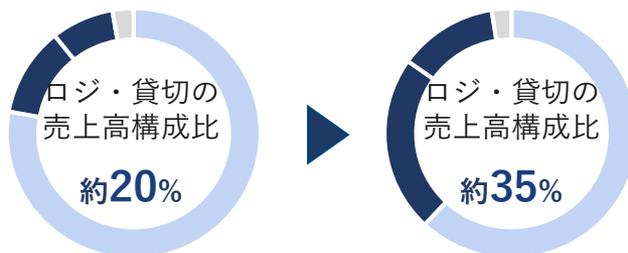


輸送事業の売上高構成比
(西濃運輸)

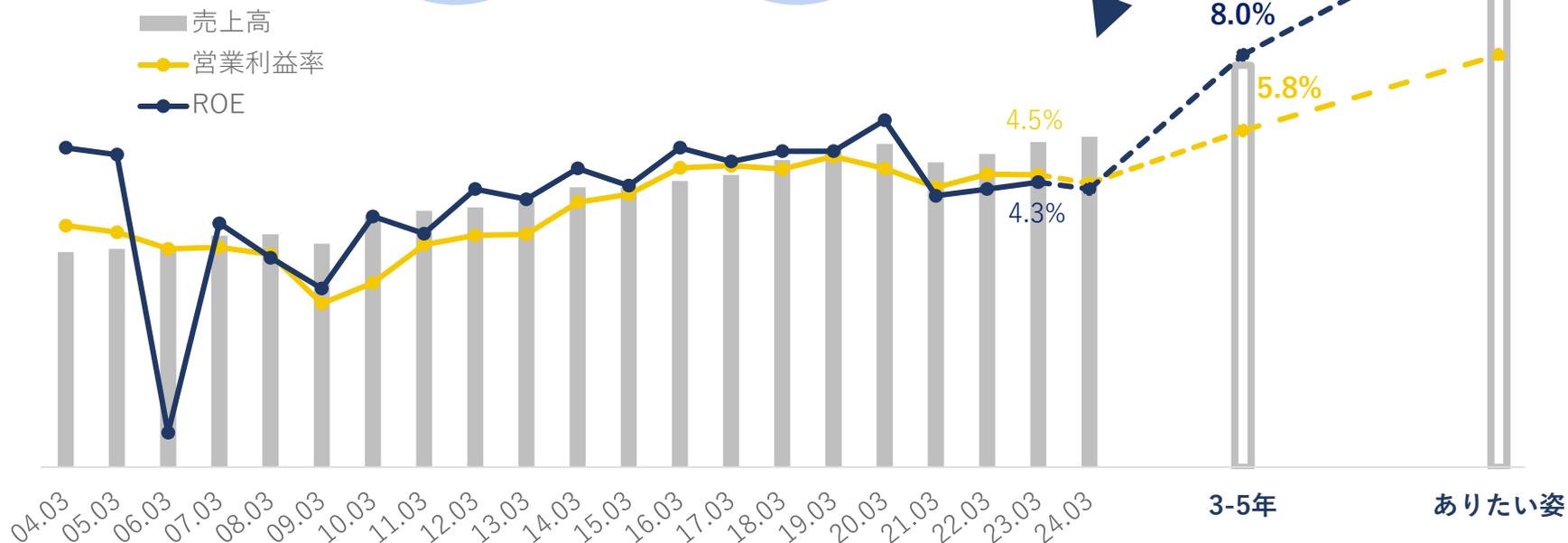
利益率の高いロジ・貸切を3分の1水準へ

23.03

3-5年後



バックキャスト

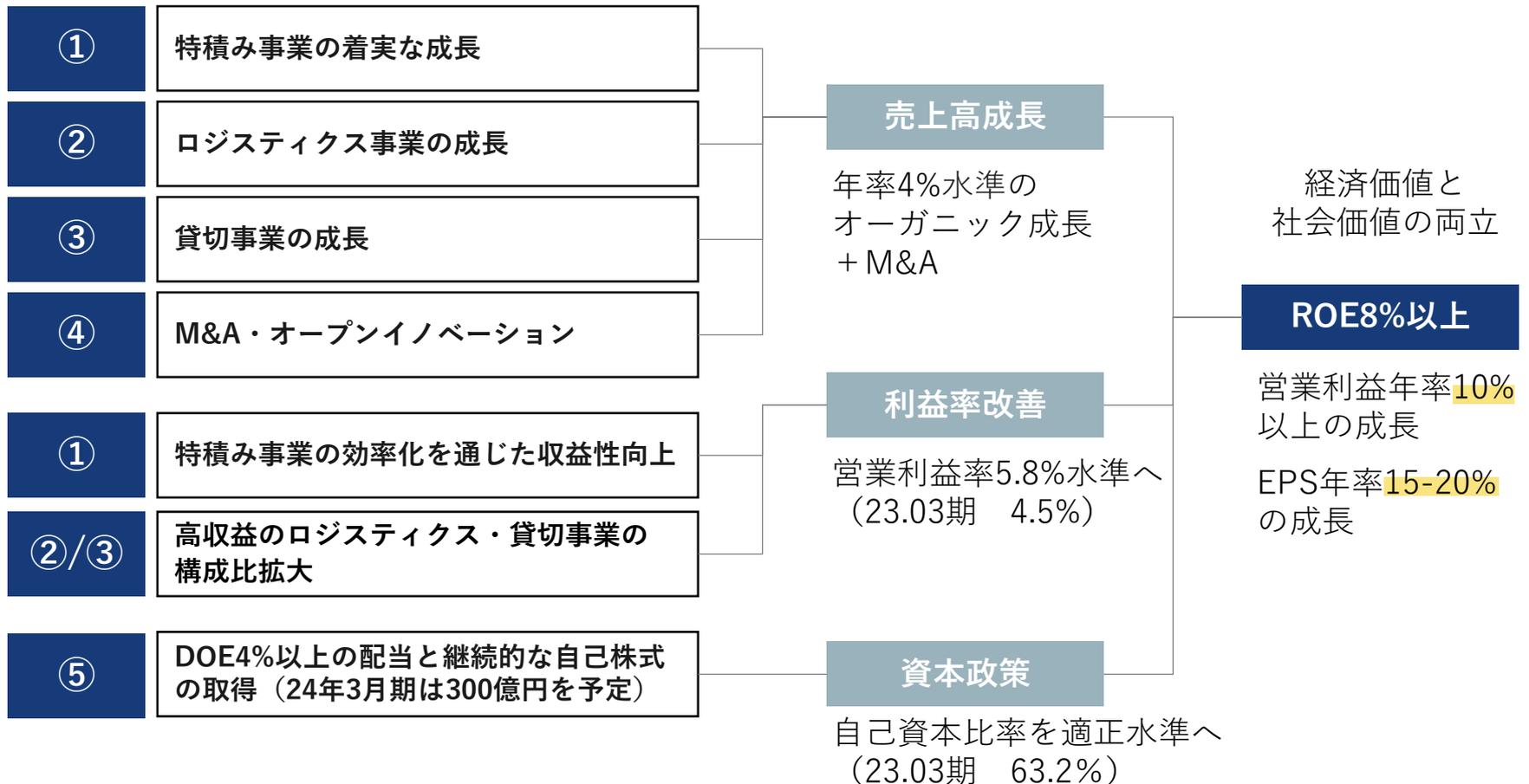


(再掲) ロードマップ2028 逆ROEツリーで価値創造を実現します



稼ぐ力の向上、積極的な株主還元で、3-5年以内にROE8%達成を目指す

ROE改善のドライバー



自己株式の償却・取得を実施



1. 自己株式の消却を実施

消却株式数 20,000,000株（6/27）

2. 自己株式の取得状況（7/31現在）

取得株数 6,585,900株

取得金額 13,971,112,404円（46.5%）

3. 株式の状況（7/31現在）

発行済株式数 187,679,783株

（自己株式） 6,686,107株（信託保有分除く）



全国
トラックドライバー
コンテスト

優勝

【内閣総理大臣賞】



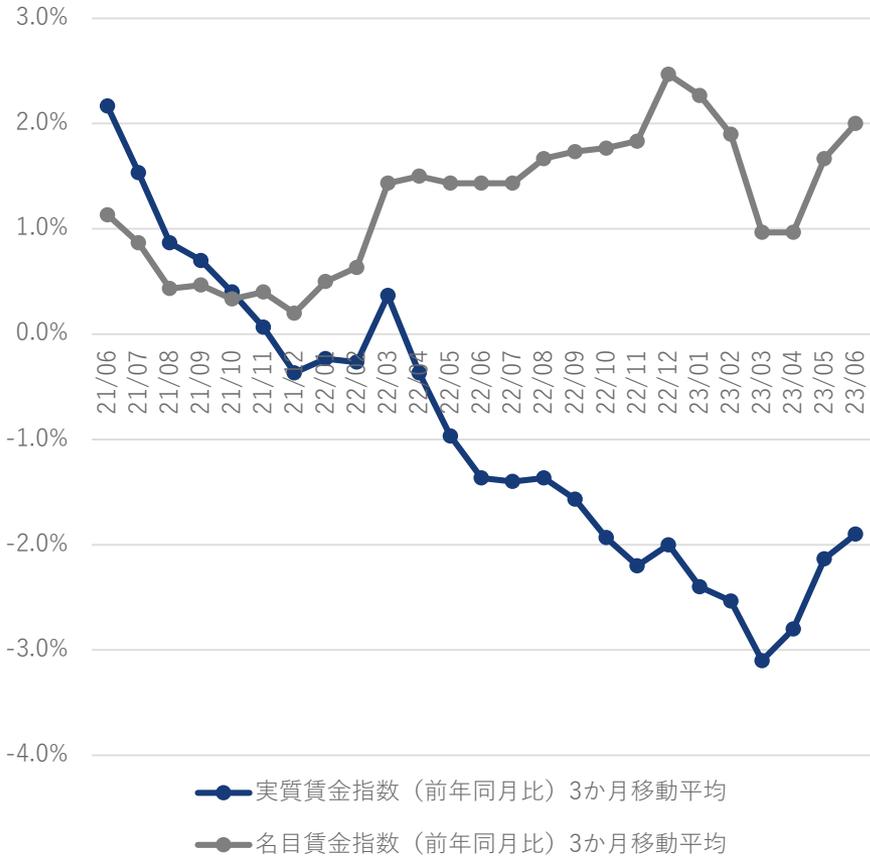
補足資料・参考資料

補足資料

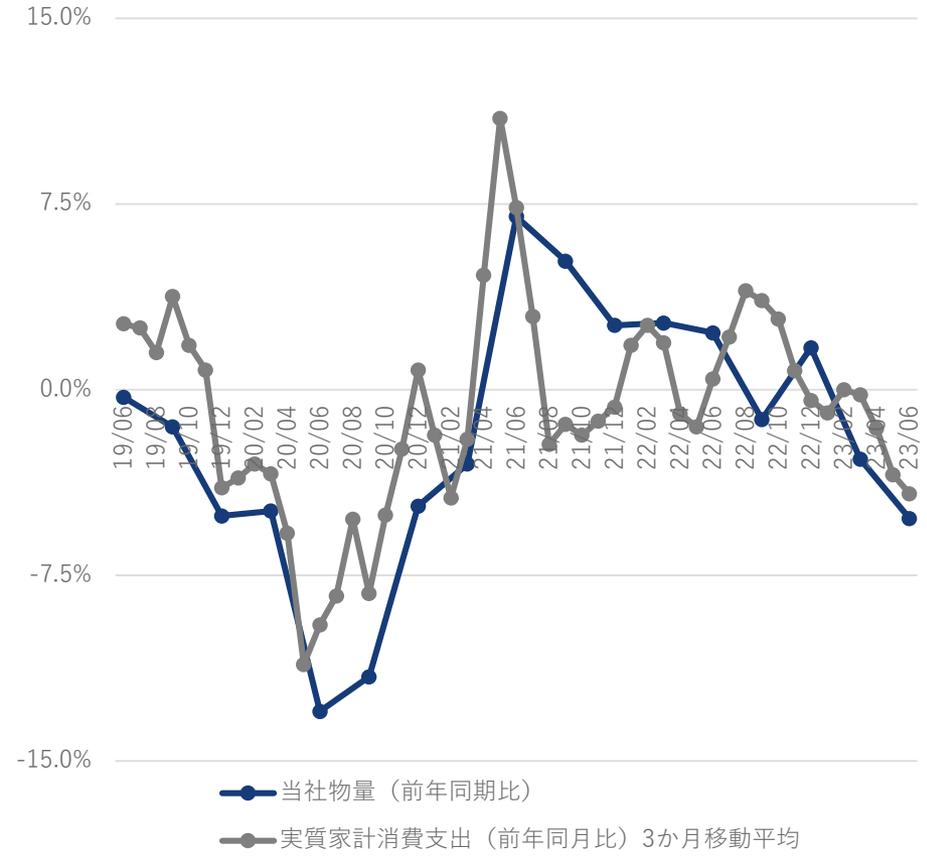


消費者物価指数が鈍化し、実質賃金指数は底を打ち、改善トレンドへ。

賃金指数の推移



当社物量と家計消費支出の推移



路線トラック輸送で業界最大手



2023年3月期売上高構成比

不動産賃貸事業 21億円

物品販売事業 335億円

セイノー商事
西濃産業 2社

自動車販売事業 942億円

トヨタカローラネット岐阜
岐阜日野自動車など 他6社

2023年3月期
売上高
6,315億円
連結子会社数
82社

その他事業 268億円

セイノー情報サービス
トヨタホーム岐阜
スイートラベルなど 他17社

輸送事業 4,747億円

西濃運輸、
セイノースーパーエクスプレスなど
他50社



出所：弊社決算説明資料

数字で見る セイノーホールディングス



01 創業

1930年

日本の物流を
支えてきた歴史

02 企業間物流

No.1

車両台数
約26,000台

03 輸送拠点

736拠点

日本の企業間物流を支える
物流インフラ

04 輸送グループ社員数

26,532名

日本の物流を
支える人的資産

05 顧客資産

86万社

これまでに築いてきた
顧客基盤

06 株主還元

DOE 1.2% → 4.0%
2022.3期 2024.3期

安定的で高い株主還元
へ変更

07 自己資本比率

63.2%

08 CVC投資件数

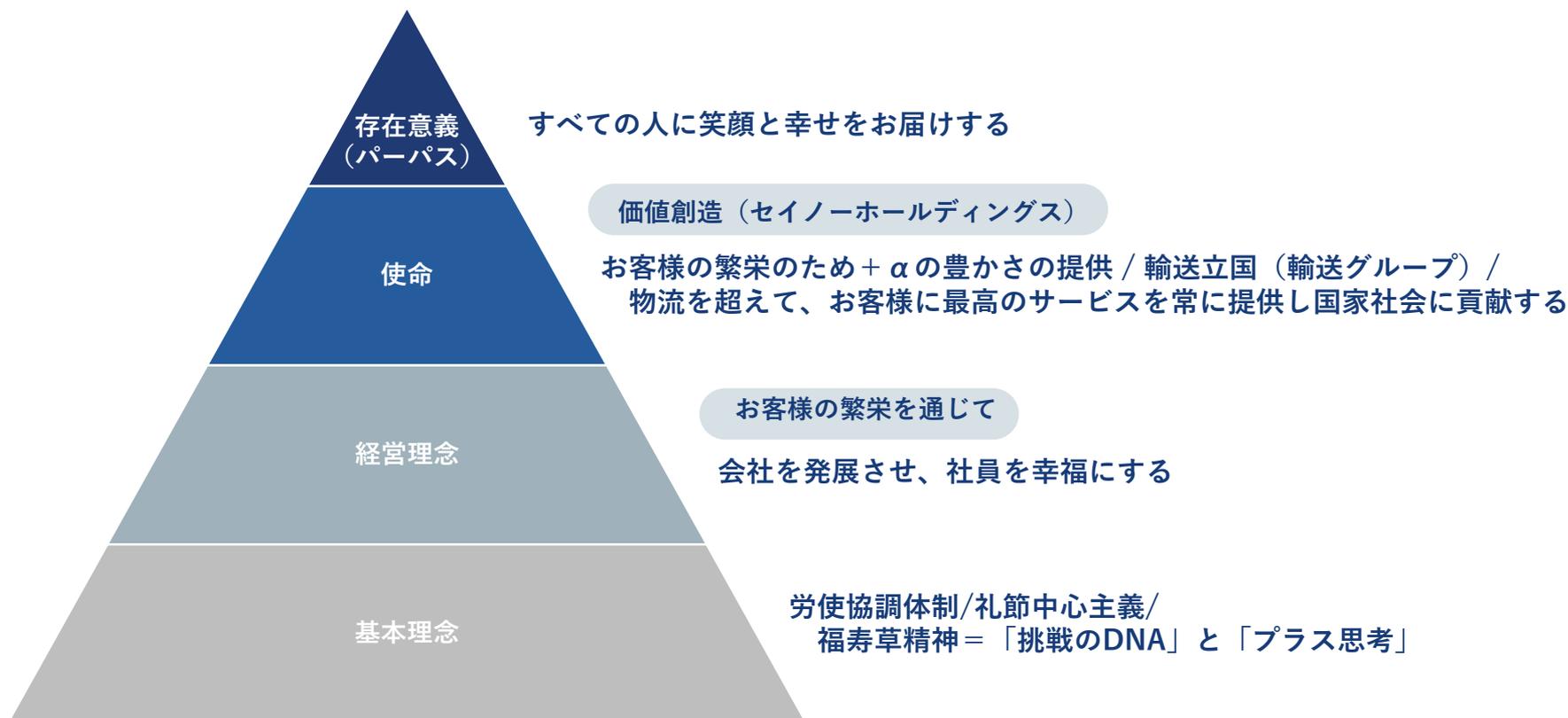
21社

テクノロジーに
強いスタートアップとの共創

「すべての人に笑顔と幸せをお届けする」



我々はお客様の繁栄をセンターピンに「すべての人に笑顔と幸せをお届けする」企業集団を目指す
お客様への価値創造を使命とし、主たる輸送部門においては、輸送立国を掲げ、国家社会に貢献していく



参考情報リンク先



中長期の経営の方向性 ～ありたい姿とロードマップ2028～
(説明会資料)

https://www.seino.co.jp/seino/media/pdf-lib/shd/ir/account-settlement/202403/202403_1setsume.pdf

(アーカイブ動画)

<https://net-presentations.com/9076/20230613/xdsksdk35/>

名証IREXPO2022 配布資料

https://www.seino.co.jp/seino/media/pdf-lib/meisho_irexpo2022.pdf

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

お問合せ先

セイノーホールディングス株式会社

財務 I R 部

〒503-8501 岐阜県大垣市田口町 1 番地

TEL : 0584-82-5023 FAX : 0584-82-5043

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>

E-mail : i.r@seino.co.jp